

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola **West**

株主のみなさまへ

(第59期 中間)

平成28年1月1日から平成28年6月30日まで

コカ・コーラ ウェスト 株式会社

目次

株主のみなさまへ（第59期 中間）

株主のみなさまへ	1
営業活動の状況[清涼飲料事業]	3
営業活動の状況[ヘルスケア・スキンケア事業]	7
地域社会貢献活動	8
連結財務諸表	9
会社概要	11
コーポレート・ガバナンス／取締役体制	12
株式の状況	13
株主メモ	14
株式に関するお知らせ	15

株主優待サービスについて

株主優待サービスについて	16
株主優待サービスの内容	17
1. 基準日および贈呈時期	
2. 株主優待サービスの利用期間	
3. 株主優待ポイント	
4. 長期保有優遇ポイント	
5. 株主優待商品のお申し込みおよび お届け時期について	

*第59期（平成28年）第2四半期より、従来の「事業報告書」の名称を「株主のみなさまへ」に変更いたしました。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、「平成28年熊本地震」により被災された地域のみなさまならびに関係者のみなさまに心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第59期第2四半期（平成28年1月1日から平成28年6月30日まで）の経営概況と業績などについてご報告いたします。

当第2四半期の経営概況と業績

当第2四半期におけるわが国経済は、雇用情勢の改善等により緩やかな回復基調が続いているものの、欧州や新興国などの海外経済の減速懸念や、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

清涼飲料業界におきましては、清涼飲料各社において収益改善に向けた動きは見られるものの、依然として各社間の販売競争は激しく、厳しい状況で推移しております。

また、健康食品業界および化粧品業界におきましては、両市場とも回復傾向にあるものの、健康食品業界では機能性表示食品の積極的な市場投入が続いており、化粧品業界では多様な販売促進策の増加などにより、競争環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような経営環境の中、平成28年から平成30年までの中期経営計画の初年度である平成28年は、清涼飲料事業における経営方針を、『RGM(レベニユグロースマネジメント)の進化：成長機会を特定し、適切な価格戦略および効果的な販促費の投下により、売上高と利益を増大させる。』、『ペンディングビジネスの変革：ペンディングビジネスにおける戦略立案から実行管理まで、全ての業務プロセスをゼロから見直し、厳しい市場環境においても勝ち続けるための変革モデルを構築する。』、『将来の成長に向けた投資：将来に向け、継続

的に成長するための基盤強化と人材育成を図るべく、必要な投資は効果的に実行する。』とし、経営目標の達成を目指すとともに、将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

また、平成28年4月26日付で、コカ・コーラエーストジャパン株式会社と経営統合に関する協議・検討を進めていくことについて合意し、本経営統合の実現に向けた取組みを進めております。

一方、ヘルスケア・スキんケア事業におきましては、平成28年の経営方針を、『通販事業の立て直し：多様化するお客さまの行動に合わせた集客方法を展開するために積極的に投資し、より多くのお客さまを獲得するとともに、CRM(カスタマーリレーションシップマネジメント)を強化し、お客さま一人当たりの購入回数および購入単価を向上させる。』、『新分野への挑戦：機能性表示食品を中心に新商品を積極的に上市するとともに、米国事業における通販モデルを確立することにより、早期に成長を実現させる。』とし、強みを最大限に活かした活動を行い、お客さまからの信頼を獲得し、継続的な成長を図っております。

当第2四半期の連結の業績につきましては、これらの取組みが順調に進捗した結果、売上高は2,193億6百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は88億8千3百万円(同比265.5%増)、経常利益は86億3千万円(同比275.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前第2四半期に四国コカ・コーラボトリング株式会社の新規連結に伴う負ののれん発生益を計上していたことなどから、46億3千3百万円(同比47.7%減)となりました。

今後の取組みについて

当期の経営目標の達成に向け、清涼飲料事業およびヘルスケア・スキんケア事業のそれぞれにおいて、年初に掲げた経営方針に沿った活動を徹底してまいります。

清涼飲料事業では、各販売チャネルにおきまして、売上高・利益の

増加を伴う販売数量の拡大を目指すとともに、将来の成長に向けた投資を着実に実行してまいります。また、コカ・コーラエーストジャパン株式会社との経営統合の実現を目指し、引き続き、同社との協議・検討を進めてまいります。

一方、ヘルスケア・スキんケア事業では、主要な販売チャネルである通信販売チャネルの強化を図るとともに、ヘルスケアおよびスキんケアの両分野におきまして、新たな収益の柱となる商品開発に取り組んでまいります。

また、新たな成長機会の獲得を目指し、清涼飲料事業とヘルスケア・スキんケア事業のコラボレーションにも取り組んでまいります。

配当金について

平成28年12月期の配当金につきましては、当期の業績および今後の経営環境等を総合的に勘案し、普通配当において年間で1株当たり3円の増配を予定しております。加えて、当期に、当社の前身であるコカ・コーラウエストジャパン株式会社と近畿コカ・コーラボトリング株式会社の経営統合から10年の節目を迎えることから、株主さまの日頃のご支援に報いるべく、年間で1株当たり2円の記念配当を実施する予定です。これらの結果、記念配当2円を含む年間配当金は、1株当たり46円(予想)となります。(1株当たり中間配当金22円、期末配当金24円(予想))。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉松民雄



営業活動の状況 [清涼飲料事業]

事業別の営業活動状況についてご報告いたします。

チャネル戦略

ベンディング（自動販売機）

ベンディングチャネルにおいては、環境配慮型の自動販売機などを活用し、オフィスや工場など屋内を中心に自動販売機の新規設置活動に注力しました。また、4月より、自動販売機専用のプロモーションを展開しております。これは、スマートフォン専用アプリ「Coke ON」を活用したもので、対象となる自動販売機で商品を購入するたびにスタンプが付与され、15スタンプ貯まると無料で好みの商品と交換いただける内容となっております。自動販売機を通じてお客さまに新たな価値を提供することにより、自動販売機の魅力を高め、売上げ拡大に努めています。

専用アプリ 「Coke ON」 の使い方



スマートフォン専用アプリ「Coke ON」

その他の自動販売機のご紹介



ピークシフト自販機

環境配慮型 自動販売機

商品の冷却に使用する電力を、比較的電力に余裕がある夜間にシフトする「ピークシフト」という発想を採用した、超省エネ型「ピークシフト自販機」の導入を進めています。

また、平成32年までに、すべての自動販売機を、オゾン層破壊の原因物質とされるフロンを使用しない「ノンフロン自動販売機」とすることを掲げ、自動販売機への積極的な投資を行っています。



災害対応型自動販売機

緊急時にも安心な「災害対応型自動販売機」

災害でライフラインが被害を受けた場合、自治体などが通信ネットワークを通して「災害対応型自動販売機」を遠隔操作することで、当社商品が無償で地域のみなさまに提供することができます。この自動販売機には電光掲示板機能も搭載しており、災害時には避難場所や地図情報をリアルタイムに発信します。当社は、平成28年熊本地震の際、この「災害対応型自動販売機」を通じて、被災地の方々へ飲料を無償で提供しました。

／チェーンストア（スーパーマーケット／コンビニエンスストア 等）

スーパーマーケットチャネルでは、リオデジャネイロオリンピック開催に合わせたキャンペーンや、人気キャラクターを起用したプロモーションを実施するなど、売場の活性化に努めました。また、RGM*の進化を図るべく、業態やお得意さまの状況に応じ、適切な商品（カテゴリー、容量等）を最適な価格で販売するなど、きめ細かい営業活動を行うことで、利益を伴う売上高の増加に取り組みました。

コンビニエンスストアチャネルでは、新商品やリニューアル商品の発売に加え、お得意さまとの共同企画商品の展開により、お客さまの幅広いニーズにお応えし、売上げを拡大しました。



スーパー
マーケットでの
売場づくり



サマー
キャンペーン

※RGM（レベニューグロスマネジメント）：
販売数量成長を上回る売上高成長により、
利益を拡大すること。

／リテール・フードサービス（飲食店／売店 等）

飲食店では、当社商品を使用したドリンクメニューを提案するなど、当社商品の取扱い拡大を図りました。また、レギュラーコーヒー機器や、卓上クーラーといった販売機器を活用することで、取引店舗の拡大に努めました。さらに、売店やホテルでは、外国人観光客にお土産として人気のある「ジョージアカフェ コーヒーバッグ」や「アクエリアスパウダー」に外国語表示付きのポスター広告を取り付け販売するなど、インバウンド需要獲得の取組みにも注力しました。



当社商品を使ったカクテルメニュー



空港内売店のお土産コーナー



外国語表示付きポスター広告

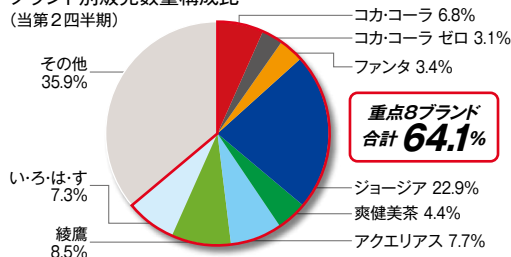
営業活動の状況 [清涼飲料事業]

主要ブランド



重点8ブランド

ブランド別販売数量構成比
(当第2四半期)



重点8ブランド
合計 **64.1%**

コカ・コーラ、コカ・コーラ ゼロ

炭酸飲料市場シェア第1位の「コカ・コーラ」ブランドでは、キャンペーンに合わせ、さまざまな期間限定デザインボトルを発売しました。具体的には、全世界で展開している「Taste the Feeling」キャンペーンの下、多様な表情でキモチを伝える「スタンプ」をラベルに配した「スタンプボトル」や、リオデジャネイロオリンピック開催に合わせ、RIO2016限定デザイン「ゴールドボトル」などを展開しました。



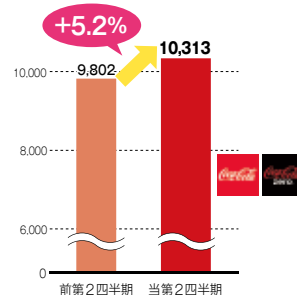
スタンプボトル

限定デザインボトル



「コカ・コーラ/コカ・コーラ ゼロ」
販売数量の推移

(単位：千ケース)



ジョージア

缶コーヒー売上げ本数シェア第1位*の「ジョージア」ブランドでは、お客さまの多様なニーズにお応えべく、商品のラインナップを拡大しました。新商品として、ジョージア微糖史上最高のコクとほどよい甘さが特長の「ザ・プレミアム微糖」や、低温抽出製法で澄みきった味わいを実現した「コールドブリュー」を発売しました。また、淹れたてのような香りとコクを家庭やオフィスで楽しめる「ジョージアカフェ ボトルコーヒー」(950ml)も注目の新商品です。

※(株)インテージSRI調べ

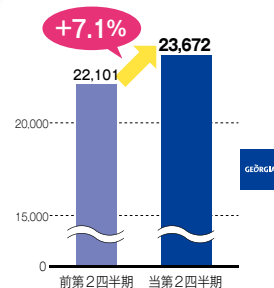


ジョージア
ザ・プレミアム微糖

ジョージア
コールドブリュー

ジョージアカフェ
ボトルコーヒー

「ジョージア」販売数量の推移
(単位：千ケース)



新商品紹介

いろはす★

い・ろ・は・す サイダー

厳選された日本の天然水を使用した国産サイダーで、クリアでさっぱりしたやさしい甘みが特長の商品です。カロリー控えめで、保存料不使用の体にやさしい炭酸飲料です。



3月14日
発売



綾鷹 にごりほのか

「綾鷹」の「急須でいれたような緑茶本来の旨み」を活かしながら、苦みや渋みを抑えることで、すっきりと飲みやすい味わいを実現しました。「綾鷹」と同様、京都府宇治市の老舗茶舗「上林春松本店」の協力のもと開発しました。



3月21日
発売



ヨーグルスタンド

「甘くておいしいのに、ヘルシー」がコンセプトの新しい乳性飲料です。ヨーグルトベースに、甘味素材「希少糖」※を使用しています。また、ナタデココが含まれており、ほどよい甘さや独特のとろみ感に加え、つぶつぶ食感をお楽しみいただけます。

※希少糖含有シロップ入り



ピーチ



パイナップル



リアルゴールド ワークス

昭和56年発売のリアルゴールドをベースに、脳や神経組織などに多く含まれるDHAと、健康維持に欠かせない必須アミノ酸のBCAAが含まれており、朝からリフレッシュして仕事を頑張りたい方をサポートする新しいエネルギー飲料です。



5月9日
発売



営業活動の状況 [ヘルスケア・スキンケア事業]

ヘルスケア・スキンケア事業は、当社の100%子会社であるキューサイ株式会社と、その子会社5社が行っています。

チャネル戦略

通信販売チャネル

テレビ通販においては、お客さまのご意見をテレビ通販番組の内容に反映するなど、お客さまにとって魅力ある番組づくりに努めました。また、ターゲット層の特性を分析し、テレビ通販番組の内容および放映枠を見直すとともに、最も効果が見込まれる時間帯に番組を放映することで、集客力の向上を図りました。

一方、インターネット通販においては、より多くのお客さまにインターネットを通じて商品を購入いただけるよう、公式ショッピングサイトの内容充実にも努めました。



テレビ通販番組

商品紹介

●グルコサミンZ

体内で軟骨を構成する成分のひとつであるグルコサミンは、軽やかな曲げ伸ばしに大切な成分です。キューサイ社の商品である「グルコサミンZ」は、一般的なグルコサミン（グルコサミン塩酸塩）と比較して、体内に約3倍吸収されやすい「N-アセチル グルコサミン」100%の商品で、1包（530mg）で1日当たりのグルコサミンの摂取目安量を補うことができます。また、「グルコサミンZ」は粉末タイプで溶けやすく、水無しでそのまま口の中で溶かして飲むことができるほか、お茶・コーヒー・お味噌汁など毎日の食事や飲み物に混ぜて摂取することもできます。



グルコサミンZ

●「コラリッチ」シリーズ

「コラリッチ」は、化粧水、乳液、美容液およびクリーム of の働きを1つにまとめた、オールインワンタイプの美容ジェルクリームです。その「コラリッチ」シリーズから、5月に、「コラリッチ BBパウダーファンデーション」を新たに発売しました。当商品は、美容液、化粧下地、日焼け止めなど、さまざまな機能を持つ固形ファンデーションで、簡単にメイク、化粧直しがしたい方にお勧めの商品です。



コラリッチシリーズ



コラリッチ
BBパウダーファンデーション

地域社会貢献活動

株主のみなさまのご承認をいただき、地域社会貢献活動の活動資金を剰余金から積み立てています。
当第2四半期は、この積立金を基に、次の活動を行いました。

社会貢献

当社は、社会福祉、スポーツ活動、文化・教育活動などを中心に、青少年の健全育成の支援や、地域とのより密接なコミュニケーションを進めています。当第2四半期は、クラシックコンサートやラグビークリニックの開催および市村自然塾 九州*の支援などを実施しました。今後も、企業市民としての役割を認識し、地域の発展や豊かな社会の実現を目指し活動してまいります。

※市村自然塾 九州：

リコーおよびコカ・コーラウエストがリコー三愛グループの創業者である市村清の生誕100周年を記念して設立した特定非営利活動法人(NPO)



ラグビークリニック



クラシックコンサート

環境推進

当社は、地球環境保全を重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の発展に貢献すべく、環境保全活動を推進しています。当第2四半期は、かけがえのない大切な資源である“水”を利用する企業として、水資源の持続的な活用に向け、当社の「さわやか自然の森」にて森林保全活動を行いました。また、地方自治体が主催するクリーンアップ活動に参加し、地域と一体となった環境美化に取り組みました。今後も、地域のみなさまとともに環境保全活動を積極的に推進してまいります。



「さわやか自然の森」
森林保全活動



「ラブアース・クリーンアップ2016」

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 平成27年12月31日現在	当第2四半期末 平成28年6月30日現在	科 目	前期末 平成27年12月31日現在	当第2四半期末 平成28年6月30日現在
〈資産の部〉			〈負債の部〉		
流動資産：			流動負債：		
現金及び預金	49,955	56,960	支払手形及び買掛金	19,532	21,028
受取手形及び売掛金	30,086	31,577	1年内返済予定の長期借入金	2,517	1,267
有価証券	30,001	14,110	未払法人税等	2,112	2,308
商品及び製品	27,735	31,447	未払金	21,426	22,466
仕掛品	600	651	販売促進引当金	355	382
原材料及び貯蔵品	2,305	4,580	その他	10,061	7,978
その他	17,575	20,288	流動負債合計	56,006	55,432
貸倒引当金	△ 372	△ 426	固定負債：		
流動資産合計	157,888	159,189	社債	50,000	50,000
固定資産：			長期借入金	201	192
有形固定資産：			退職給付に係る負債	3,375	3,386
建物及び構築物（純額）	33,230	32,187	役員退職慰労引当金	163	178
機械装置及び運搬具（純額）	21,381	20,653	その他	7,480	5,980
販売機器（純額）	30,313	35,382	固定負債合計	61,221	59,738
土地	63,204	63,102	負債合計	117,227	115,171
建設仮勘定	69	422	〈純資産の部〉		
その他（純額）	1,978	1,881	株主資本：		
有形固定資産合計	150,178	153,630	資本金	15,231	15,231
無形固定資産：			資本剰余金	109,072	109,072
のれん	31,762	30,611	利益剰余金	136,851	139,193
その他	6,638	5,757	自己株式	△ 4,586	△ 4,589
無形固定資産合計	38,401	36,369	株主資本合計	256,569	258,907
投資その他の資産：			その他の包括利益累計額：		
投資有価証券	22,382	17,223	その他有価証券評価差額金	5,217	1,855
退職給付に係る資産	—	57	繰延ヘッジ損益	△ 177	△ 594
その他	9,830	9,152	為替換算調整勘定	17	65
貸倒引当金	△ 574	△ 597	退職給付に係る調整累計額	△ 1,132	△ 767
投資その他の資産合計	31,637	25,836	その他の包括利益累計額合計	3,924	559
固定資産合計	220,217	215,836	非支配株主持分	384	387
資産合計	378,105	375,025	純資産合計	260,878	259,854
			負債純資産合計	378,105	375,025

① 総資産

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ30億7千9百万円減少し、3,750億2千5百万円（前期末比0.8%減）となりました。これは主に、時価の下落による投資有価証券の減少によるものです。

② 負債

当第2四半期末の負債は、前期末に比べ20億5千6百万円減少し、1,151億7千1百万円（前期末比1.8%減）となりました。これは主に、借入金の返済によるものです。

③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前期末に比べ10億2千3百万円減少し、2,598億5千4百万円（前期末比0.4%減）となりました。これは主に、前述した投資有価証券の減少に伴う有価証券評価差額金の減少によるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで
4 売上高	200,994	219,306
売上原価	99,742	105,821
売上総利益	101,252	113,485
販売費及び一般管理費	98,821	104,602
5 営業利益	2,430	8,883
営業外収益	572	514
営業外費用	707	766
5 経常利益	2,295	8,630
特別利益	8,520	—
特別損失	475	754
税金等調整前四半期純利益	10,340	7,876
法人税等合計	1,469	3,210
四半期純利益	8,871	4,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	31
6 親会社株主に帰属する四半期純利益	8,857	4,633

4 売上高

清涼飲料事業では、当社が平成27年6月30日をみなし取得日として四国コカ・コーラボトリング株式会社を連結対象とした影響や販売数量の増加等により、売上高は、2,028億4千4百万円（前年同期比9.8%増）となりました。また、ヘルスケア・スキンケア事業の売上高は、164億6千2百万円（同比1.1%増）となり、連結の売上高は、2,193億6百万円（同比9.1%増）となりました。

5 営業利益および経常利益

清涼飲料事業では、販売機器の主な耐用年数を変更したことによる減価償却費の減少に加え、前述した売上高の増加やコスト削減等により、営業利益は、69億9千1百万円（前年同期比498.4%増）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においても、売上高の増加やコスト削減等により、営業利益は、18億9千2百万円（同比49.9%増）となり、連結の営業利益は、88億8千3百万円（同比265.5%増）となりました。

また、連結の経常利益は、主に営業利益の増加により、86億3千万円（同比275.9%増）となりました。

6 親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は増加したものの、前年同期において、四国コカ・コーラボトリング株式会社の新規連結に伴う負ののれん発生益を計上したことなどにより、連結の親会社株主に帰属する四半期純利益は、46億3千3百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで
7 営業活動によるキャッシュ・フロー	12,009	4,506
8 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,940	△ 9,807
9 財務活動によるキャッシュ・フロー	26,038	△ 3,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	48
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	19,106	△ 8,989
現金及び現金同等物の期首残高	41,830	79,828
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	152	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,089	70,839

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、45億6百万円の収入（前年同期120億9百万円の収入）となりました。たな卸資産の増減額および仕入債務の増減額の影響などにより、当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ75億2百万円の減少となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、98億7百万円の支出（前年同期189億4千万円の支出）となりました。前第2四半期において連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったことなどにより、当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ91億3千2百万円の増加となりました。

9 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、37億3千7百万円の支出（前年同期260億3千8百万円の収入）となりました。前第2四半期において社債の発行による収入があったことなどにより、当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期に比べ297億7千5百万円の減少となりました。

セグメント情報

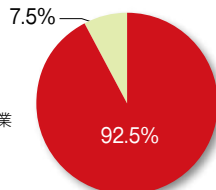
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期			当第2四半期		
	平成27年1月1日から平成27年6月30日まで			平成28年1月1日から平成28年6月30日まで		
	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合 計	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合 計
売上高*	184,703	16,290	200,994	202,844	16,462	219,306
セグメント利益*	1,168	1,262	2,430	6,991	1,892	8,883

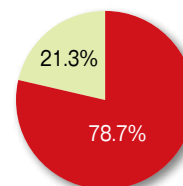
※ 売上高およびセグメント利益は、連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しています。

当第2四半期
売上高構成比

■ 清涼飲料事業
■ ヘルスケア・スキンケア事業

当第2四半期
営業利益構成比

■ 清涼飲料事業
■ ヘルスケア・スキンケア事業



会社概要 (平成28年6月30日現在)

商号	コカ・コーラウエスト株式会社
本社所在地	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	8,778名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
上場証券取引所 (所属部)	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

企業理念

飲料を通じて
価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまの
ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと
持続可能な社会の発展に
貢献します。

飲料を中心とした事業領域の中で、安全安心で優れた品質の商品、サービスの提供はもちろんのこと、お客さまの新しいニーズを発見し続けていきます。また、絶え間ない革新によって、新しい価値を持った商品、サービスを提供することで、

- お客さまの多様なライフスタイルにおいて、おいしさ・楽しさ・健康・やすらぎなど、人々が前向きに生きるための心身の豊かさ(=ハッピー)に貢献すること
 - 環境保全への貢献や地域社会との共生を事業活動の中で強く意識し、持続可能な社会の発展に貢献すること
- を、この企業理念はあらわしています。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主、投資家のみなさまに向けて、財務情報、IRイベントスケジュール、IR資料など、豊富なIR情報を掲載しています。また、ご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。

▶ ホームページ
トップ画面



<http://www.ccwest.co.jp/>

コカ・コーラウエストグループ 工場見学



えびの工場の様子



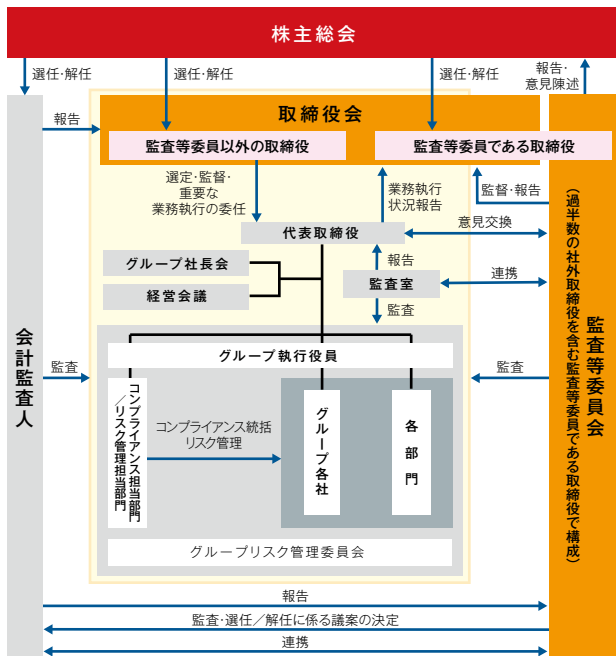
コカ・コーラ社商品が完成するまでの工程をお楽しみいただける工場見学を開催しています。詳細は、当社ホームページをご覧ください。

コーポレート・ガバナンス／取締役体制 (平成28年6月30日現在)

コーポレート・ガバナンス

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の効率性および透明性を向上させ、当社の株主価値の増大に努めることです。

当社は、ガバナンス体制の一層の強化を目指し、平成28年3月23日開催の第58回定時株主総会における承認を経て、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。当社の監査を担う監査等委員会は、2名の常勤の取締役（監査等委員）に加え、3名の社外取締役（監査等委員）で構成されており、この社外取締役が過半数を占める監査等委員が、取締役会における議決権を有していること、ならびに株主総会における取締役の指名・報酬等への意見を陳述する権利を有していることなどにより、経営監督機能がより強化されております。また、当社は、意思決定および経営監督機能と業務執行機能を分離すべく、平成11年3月に取締役会の改革および執行役員制度の導入を行っておりますが、この移行とともに、重要な業務執行の決定の一部を取締役に委任することにより、取締役会において特に重要度の高い事項についての審議をより充実させるとともに、それ以外の事項について、代表取締役以下のグループ執行役員（経営陣）による経営判断のさらなる迅速化も図っております。



取締役（監査等委員である取締役を除く。）

代表取締役 吉松 民雄 社長

代表取締役 柴田 暢雄 副社長

取締役 竹森 英治
グループ上席執行役員
コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社
代表取締役社長

取締役 深見 利雄
グループ上席執行役員
コカ・コーラウエストセールスサポート株式会社
代表取締役社長

取締役 岡本 繁樹 常務執行役員
CSV統括部長

取締役 藤原 義樹 常務執行役員
営業統括本部長

取締役 古賀 靖教 常務執行役員
企画・財務統括部長

取締役 本坊 俊一郎 常務執行役員
営業統括本部 九州営業本部長

取締役 (社外取締役) 三浦 善司 株式会社リコー
代表取締役 社長執行役員・CEO

取締役 (社外取締役) ヴィカス テイク ザ コカ・コーラカンパニー
アジアパシフィックグループCFO

監査等委員である取締役

取締役 宮木 博吉 常任監査等委員(常勤)

取締役 田口 忠憲 (常勤)

取締役 (社外取締役) 一木 剛太郎 弁護士
宏和法律事務所

取締役
(社外取締役) 礪山 誠二 株式会社西日本シティ銀行
代表取締役副頭取

取締役 (社外取締役) 大神 朋子 弁護士
國武綜合法律事務所

株式の状況 (平成28年6月30日現在)

発行可能株式総数 270,000 千株

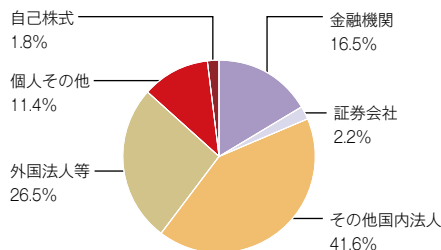
発行済株式総数 111,125 千株

株主数 42,410 名

所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
● 金融機関	57	18,288
● 証券会社	29	2,448
● その他国内法人	432	46,213
● 外国法人等	344	29,470
● 個人その他	41,547	12,716
● 自己株式	1	1,987
合計	42,410	111,125

株式数の構成比

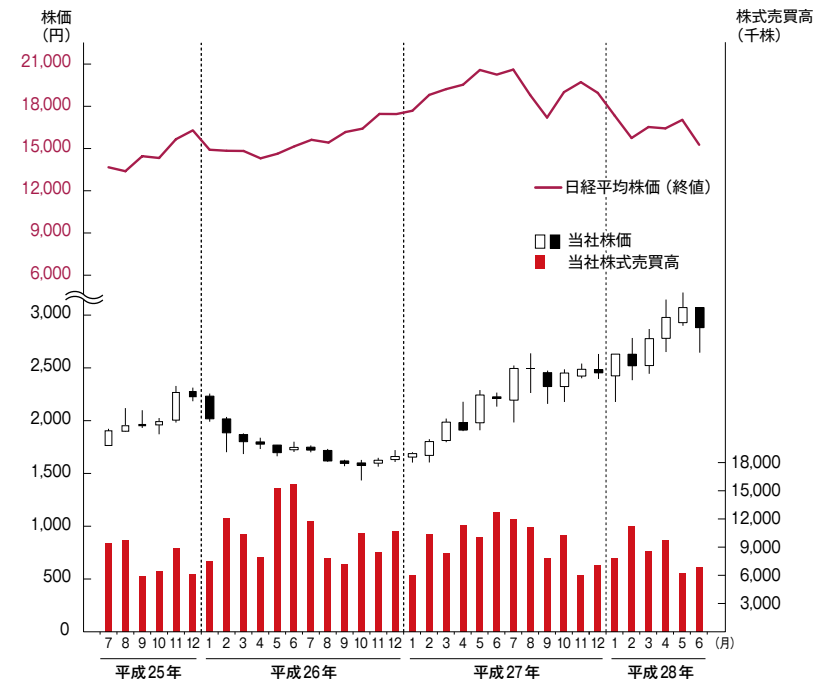


大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社リコー	17,075	15.6
公益財団法人新技術開発財団	5,294	4.9
薩摩酒造株式会社	4,699	4.3
株式会社MCAホールディングス	4,407	4.0
コカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	3.7
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.6
INDUS MARKOR PARTNERS, LTD	3,700	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,249	3.0
株式会社西日本シティ銀行	2,203	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,848	1.7

(注) 当社保有の自己株式 1,987 千株につきましては、上記の表および持株比率の計算より除いております。

株価および株式売買高の推移



株主メモ

(平成28年6月30日現在)

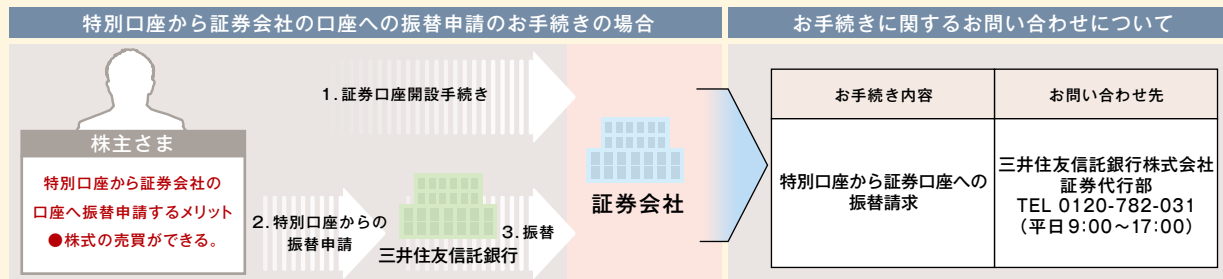
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	
●定時株主総会	毎年12月31日
●期末配当金	毎年12月31日
●中間配当金	毎年6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.ccwest.co.jp/koukoku/) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

特別口座について

特別口座とは、平成21年1月の株券電子化の際に、株券を証券会社に預託されなかった株主さまならびに単元未満登録株式をお持ちの株主さまの権利を保全するために、当社が特別に開設した口座のことをいいます。当社は「三井住友信託銀行」に特別口座を開設しております。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きについて

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替えるお手続き（振替申請）をお勧めします。



●現在株券をお持ちの株主さまや、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主さまは、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

株式に関するお知らせ

1. 単元未満株式の買増・買取請求のお手続きについて

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については市場で売買はできませんが、当社に対して100株（1単元）となるよう**買増請求**（購入）することができます。または単元未満株式を当社に対して**買取請求**（売却）をすることができます。お手続きの方法等のお問い合わせは、「2. 株式に関するお手続きについて」のお問い合わせ先にお申し出ください。



2. 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、以下の表をご参照のうえ、該当の窓口にお問い合わせください。

①証券会社に口座をお持ちの株主さまと、②特別口座の株主さま（証券会社に口座をお持ちでない株主さま）で、お問い合わせ先が異なる場合がありますのでご注意ください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先		
	① 証券会社に 口座をお持ちの株主さま		② 特別口座の株主さま (証券会社に口座をお持ちでない株主さま)
● 単元未満株式の買増・買取のご請求 ● 届出住所のご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更	株主さまの口座のある証券会社		特別口座の 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00～17:00)
● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物(配当金関係書類等)の発送に 関するご照会 ● 株式に関するその他のお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00～17:00)	株主名簿管理人
● 株主優待に関するお問い合わせ	コカ・コーラウエスト株主優待事務局 TEL 0120-99-5610 (平日10:00～17:00)		コカ・コーラウエスト株主優待事務局 TEL 0120-99-5610 (平日10:00～17:00)

株主優待サービスについて

毎年12月31日現在で当社株式を100株以上保有する株主さまに対し、保有株式数と保有期間に応じて、「株主優待ポイント」を翌年3月下旬に贈呈いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、当社ホームページの株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せや社会貢献活動への寄付などお好きな株主優待商品と交換いただくことができます。

1 株主になる



2

株主優待通知書が
送られてくる



3

株主優待ポイントを
株主優待サイトや
商品カタログ内の
商品と交換する



4

商品が届く



株主優待商品例



●コカ・コーラ社製品詰合せ



●コカ・コーラウエストロゴ入りマフラータオル



●社会貢献活動
「市村自然塾 九州」
への寄付

株主優待サービスの内容

1. 基準日および贈呈時期

- ・対象となる株主さま…毎年12月31日現在において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、1単元(100株)以上を保有する株主さま
- ・贈呈時期…翌年3月下旬

2. 株主優待サービスの利用期間

3月下旬～9月末

3. 株主優待ポイント

保有株式数に応じて、45～180ポイントを贈呈いたします。

4. 長期保有優遇ポイント

対象となる株主さまに対して、保有株式数に応じて、長期保有優遇ポイントとして30～120ポイントの追加ポイントを贈呈いたします。

長期保有優遇制度の対象となる株主さま

毎年12月31日現在において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、**3年以上継続して1単元(100株)以上**保有する株主さま※

※3年以上継続して保有する株主さまとは、毎年12月31日現在において、当社株主名簿に、同一の株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主さま(同一の株主番号で3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に継続して、13回以上記載または記録されている株主さま)といたします。

なお、婚姻および転居に伴う株主名簿の記載内容の変更により、株主番号が変更となった場合に限り、長期保有優遇制度の対象といたしますので、当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(TEL:0120-782-031 平日9:00～17:00)までご連絡ください。

保有株式数	株主優待ポイント	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上 ()内は、長期保有優遇ポイント
100株以上500株未満	45ポイント	75ポイント(30ポイント)
500株以上1,000株未満	60ポイント	105ポイント(45ポイント)
1,000株以上5,000株未満	90ポイント	150ポイント(60ポイント)
5,000株以上	180ポイント	300ポイント(120ポイント)

5. 株主優待商品のお申し込みおよびお届け時期について

株主優待商品のお申し込みに当たっては、お届け時期(①「通常配送」および②「夏季配送」)をお選びいただくことができます。

1 「通常配送」を選択し、お申し込みいただくと、受付後、1ヵ月以内にお届け(※)いたします。

※ただし、在庫切れ、天変地異その他の事由により、お届けに1ヵ月以上を要する場合があります。



例えば...

株主優待ポイントもらったから、すぐに申し込もう!

2 「夏季配送」を選択し、6月末までにお申し込みいただくと、7月上旬から中旬にお届けいたします。



例えば...

夏休みにやってくる孫に飲ませてあげたい!

例えば...

この商品、暑い夏に受け取りたいけど、申し込みだけ先に済ませてしまいたい!

3 株主優待ポイントを60ポイント以上お持ちの株主さまへは、2回以上に分けてお届けすることができます。(お申し込みは、都度必要です。)



例えば...

株主優待ポイントがたくさんあるので、必要なときに、分けて受け取りたい!

さらに便利!

「通常配送」と「夏季配送」を組み合わせると、一度のお申し込みで、お届け時期を分けることが可能です。

みんなの あしたに ハッピーを

Coca-Cola West

コカ・コーラ ウエスト株式会社

〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号

- 株主のみなさまへに関するお問い合わせ
企画部（IR担当） TEL 092-641-8774 <http://www.ccwest.co.jp/>
- 株主優待に関するお問い合わせ
コカ・コーラウエスト株主優待事務局 TEL 0120-99-5610
受付時間 10:00～17:00（ただし、土日祝日・年末年始を除く）

